

「炎と鋸」に秘める思い。

みきかじや村

<http://www.miki-japan.com/>

みきかじや村 |



みきかじや村

TOOL SHOP OPEN

www.miki-japan.com

兵庫県三木市発！ 金物セレクトショップ

WELCOME

2017年11月1日より[みきかじや村 TOOL SHOP]が玉島(ぎよしま)産業株式会社屋内にオープンしました。オンラインショップで紹介している商品を直接見て、触って、購入できる場所です。商品についてスタッフが丁寧に説明致します。ここでしか購入できないお宝商品もあります。各種道具のメンテナンスも承ります。鍛冶屋さんが参加するイベントなども予定しておりますので、ご興味のある方は是非一度、お越しください。



住所 〒673-0404 兵庫県三木市大村 58-14
電話 0794-83-1123
FAX 0794-83-2273
E-mail webmaster@miki-japan.com



営業時間

月～金 9:00～17:00
第1土・翌日 9:00～17:00
定休日 上記以外の土・日・祝

アクセス

- お車で越しの方
山陽自動車道三木小野インター下車
国道175号三木方面約2～3分
中国自動車道滝野社インター下車
国道175号三木方面約20～25分
- 電車で越しの方
神戸電鉄粟生線
大村駅から徒歩約10分
神戸電鉄粟生線
三木駅から徒歩約15分
- バスで越しの方
神姫バス神戸三ノ宮バスターミナル
→(57分)→神姫バス三木営業所から
徒歩約10分

駐車場完備！
お越しになられる際は、事前にご連絡頂きますとスムーズです。

「みきかじや村」とは？

「炎と鋸」に秘める思い

みきかじや村の思いとは

鍛冶人たちは幾年もかけ1つ1つの技を修得し、磨き続けています。そこで生まれる道具は魂が宿り、長きに亘り愛用される逸品となります。また、使い手は、自分に合った究極の道具を探し求め、日々技を磨き続け、素晴らしい仕事をこなし続けています。そんな両方の気持ちが通じ合う場所を作っていければ・・・それが「みきかじや村」の思いです。



●三木金物のシンボル「金物鷲」



その起源は昭和8年にさかのぼります。当時大水害に見舞われた三木町(現三木市)の気運を盛り上げるために提案されました。金物鷲は、鋸や庖丁・ナイフ・ギムネ・鉈(なた)・手鉤(てかぎ)など総数にして約3,300点の三木金物製品を組み上げた、大きな鷲のオブジェです。重さ1.5トン、翼長5m、高さ3.2mの威容は、多くのイベントに出展され、三木金物のシンボルとして注目されています。

●三木金物まつり

三木市では毎年11月に「三木金物まつり」を開催しています。県内外から約18万人以上の人出で賑わう、三木市恒例の一大イベントです。地元金物製品を一堂に集めた三木金物展示・直売会、刃物修理市や金物に対する理解と親しみを深めてもらうためのいろいろなステージイベントが行われます。



三木金物まつりの様子



●「三木金物」の地域団体商標を取得

「三木金物」は平成20年2月29日に地域団体商標を取得しました。約400年の歴史を持つ三木金物は昔から続いている鍛冶職人の手づくりの技や先進機器の技術を活かして作られ、「三木金物」といえば、安心と信頼の製品であることを広く知っていただくために地域団体商標を取得しました。

三木金物ロゴマークのご紹介：



シンボルマークは三木金物の象徴である「金物鷲」をモチーフに、情熱的なオレンジ色が「ふいご」で熱した時の地鉄や鋼の色を表現しています。鍛冶職人の誠実さをアピールした直線的な濃紺のロゴタイプは伝統とこだわりを表現し、落ち着いた雰囲気を感じさせます。

鍛冶の歴史を今も伝える
金物のまち 三木



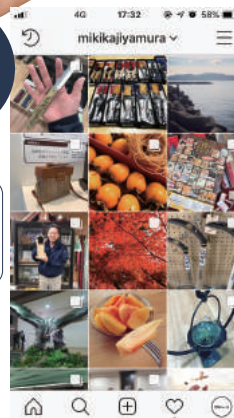
online shop



facebook



instagram



youtube



金物のまち 三木市とは？

三木市(みきし)は、兵庫県南部の東播磨地方に位置し、まちのほぼ中心部を東経135度の日本標準子午線が通過しています。「金物のまち」以外にも、酒米「山田錦」の産地としても知られています。また、市内に高速道路が4路線(ジャンクションが2か所)、国道が2路線通っており、交通の要衝となっているだけでなく、神戸市に隣接し、そのベッドタウンとしての面も持っています。近年では三木総合防災公園やひょうご情報公園都市の整備が進められ新たな顔が生まれようとしています。



●1500年の歴史

三木の鍛冶屋の歴史は西暦550年頃百済の聖明王の王子恵が三木の丹生山に亡命してきた際、優れた漢鍛冶をつれてきたという説と、西暦220年に神功皇后が朝鮮出兵のとき職人をつれて帰ってきたとされる説があります。前説が有力です。鍛冶屋そのものの歴史は更に古いようですが、優秀な技術という点からすると、この西暦550年頃を三木の鍛冶屋の起源とするのが一般的だとされています。

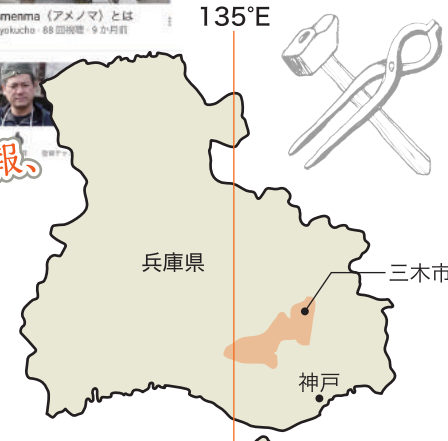
その後、羽柴秀吉による三木城攻略戦までの間、三木は優秀な鍛冶職人のおかげで大いに栄え、優秀な宮大工を輩出し、播磨の国の都にもなりました。

●400年の伝統

1578年羽柴秀吉による三木城攻めが始まり、結果別所長治(当時の三木城城主)は自刃、三木は廃墟となる。しかしその後秀吉の地子免許(免税)により三木は復興し、このときより鍛冶屋の中でも特に金物に特化して三木金物の名前が全国に轟く様になりました。

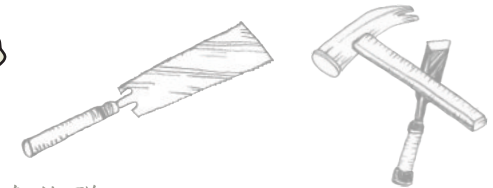


135°E



●豊富な金物群

三木は他の金物産地とは異なり、多くの種類の金物を製造しています。鋸・鑿・小刀をはじめ、包丁・鋏・金槌・錘・鎌・鍬など昔なじみのものから、草刈丸鋸・木工丸鋸・木工ドリル・コンクリートドリルなど、時代に沿った先端工具の生産も盛んです。



●金物の町

現在に於いても三木の工業出荷額の30%以上、全国利器工匠具の50%以上が三木できています。

こだわりの逸品
伝統ある鍛冶屋の商品を販売します。



「こんな商品ないの?」
「こんな道具作られへん?」
「こんな作業にええ道具ないかなあ?」

に、お答えします。

三木の金物に限らず、三木市の情報もたくさん扱っております。

みきかじや村ホームページURL

<http://www.miki-japan.com/>

詳しくはこちらへアクセス!!



Online Shop

なめら金物店

職人のこだわりの逸品を
お届ける「なめら金物店」
珍しい商品も満載です!!



オンラインでのお買い物から耳寄り情報、
イベントのご案内など
様々な形で発信しております

メンテナンスコーナーも充実

0794-83-1123

一部、研ぎができない商品がございます。



みきかじや村は、商品をご購入していただいたその後のアフターサービスにも力を入れています。みきかじや村の最大の特長は、各種サービス・メンテナンス・別注商品企画ができることです。職人さん達が作った商品により親しみを持ってもらう為に銘入れや簡単なカスタマイズ、刃研ぎや修理に至るまで様々なサービスを行っております。是非、お気軽にご相談下さい。

ご注文の際は オンラインショップにてお買い求めください。

または お電話からでも承っております。TEL : 0794-83-1123

To overseas customers, Our shop can ship all products internationally.
Please don't hesitate to ask us, if you are interested in.
<http://fugaku-japan.com/>

玉島産業株式会社 みきかじや村事業部

〒673-0404 兵庫県三木市大村58-14 TEL : 0794-83-1123
E-mail : webmaster@miki-japan.com FAX : 0794-83-2273

営業時間 平日 9:00~17:00 (毎週土日祝定休)